

三重の女性労働等の実情

目 次

1. 女性の活躍

- (1) 女性の労働力
- (2) 平均年齢・平均勤続年数 NEW
- (3) 男女間所定内給与額格差の推移 NEW
- (4) 管理職に占める女性の比率
- (5) パート・アルバイトの人数及び割合の推移 NEW

2. 少子・高齢化と雇用の実態

- (1) 生産年齢人口の推移
- (2) 年齢階級別労働力率
- (3) 女性の正規、非正規従業員の割合 NEW
- (4) 育児休業取得率の推移 NEW
- (5) 出生数及び合計特殊出生率の推移 NEW

3. 働き方・休み方

- (1) 週60時間以上就業する雇用者の割合 NEW
- (2) 年次有給休暇の取得状況 NEW

三重労働局雇用環境・均等室

〒514-8524 津市島崎町327-2 津第二地方合同庁舎2階

TEL 059-261-2978(企画、助成金関係)

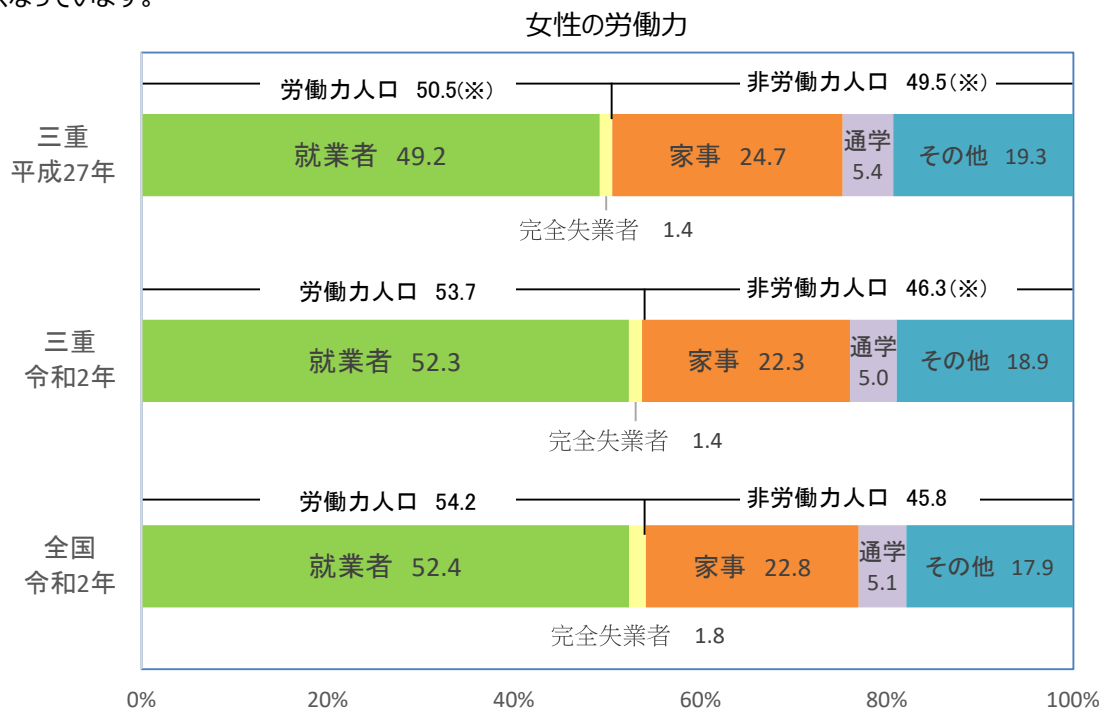
059-226-2318(男女均等、育児介護等関係)

059-226-2110(労働相談、働き方・休み方)

1.女性の活躍

(1) 女性の労働力

令和2年国勢調査によれば、三重県の15歳以上の女性の人口は784,751人、そのうち労働力人口は421,699人で、全体の53.7%を占めています。全国の労働力人口(54.2%)と比較すると、0.5ポイント低くなっています。



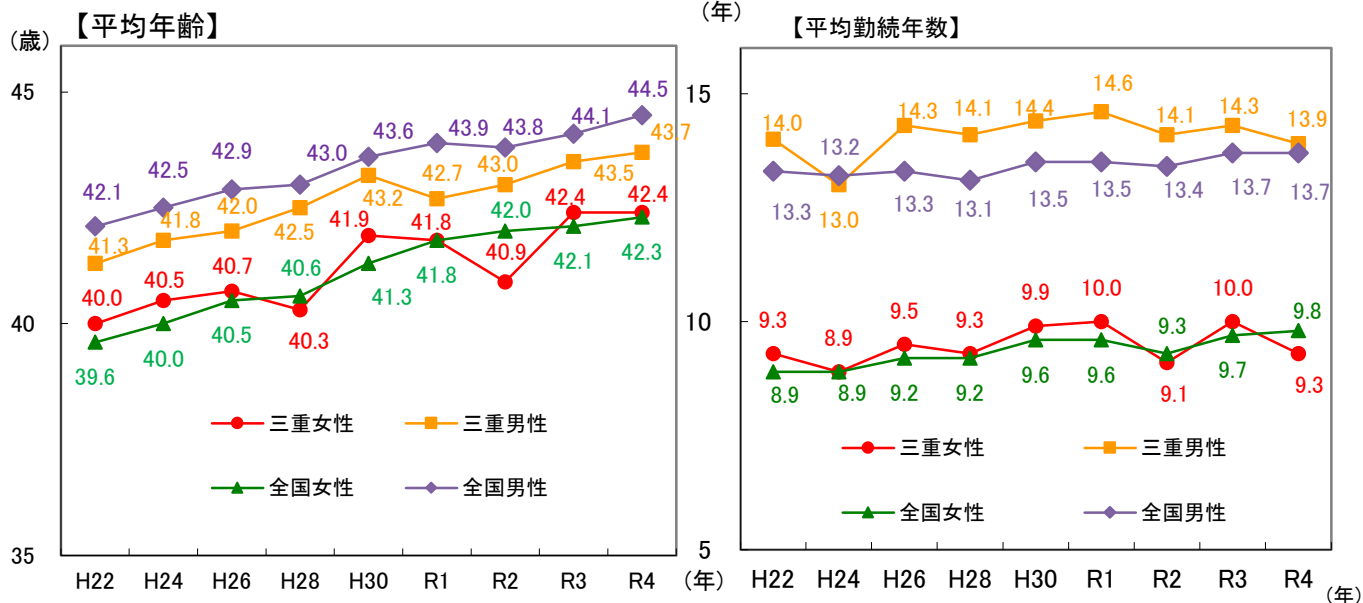
資料出所：総務省統計局「令和2年国勢調査」
(不詳補完値により算出)(※：四捨五入による)

(2) 平均年齢・平均勤続年数

令和4年の三重県の労働者の平均年齢は、女性(42.4歳)が男性(43.7歳)より、1.3歳低くなっています。全国では女性(42.3歳)が男性(44.5歳)より、2.2歳低くなっています。

平均勤続年数の男女間において、三重県では4.6年、全国では3.9年の差が生じています。

平均年齢、平均勤続年数の推移

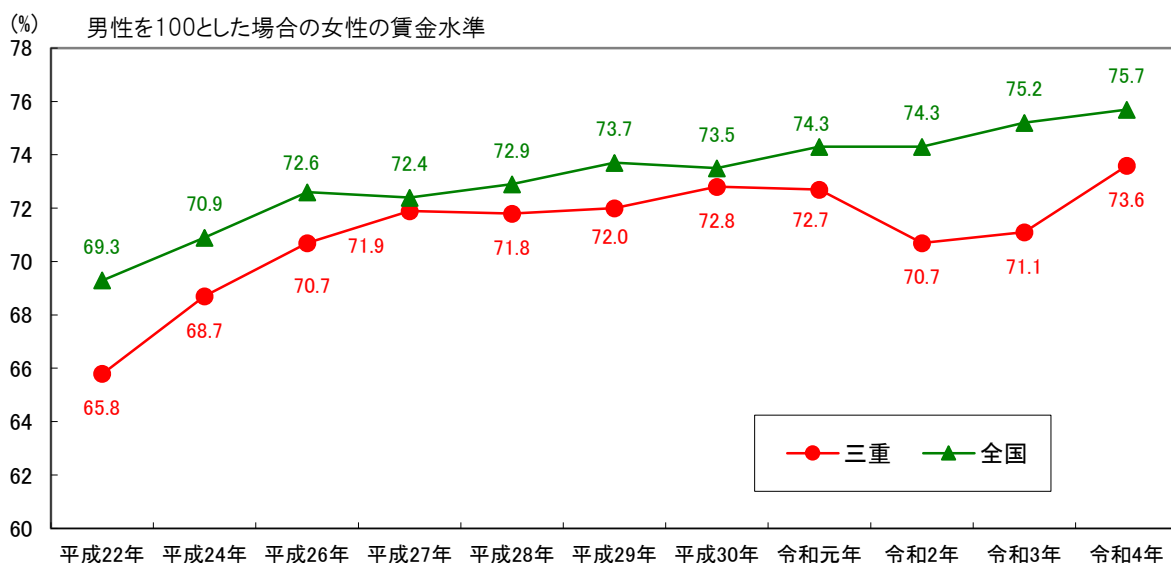


資料出所 厚生労働省「賃金構造基本統計調査」
(注)令和2年の調査変更に伴い遡及集計された結果を使用

(3) 男女間所定内給与額格差の推移

男性一般労働者（短時間労働者以外の労働者）の所得内給与を100とした場合、三重県の女性一般労働者の賃金水準は、令和4年では73.6%となり、全国平均より格差が大きくなっています。

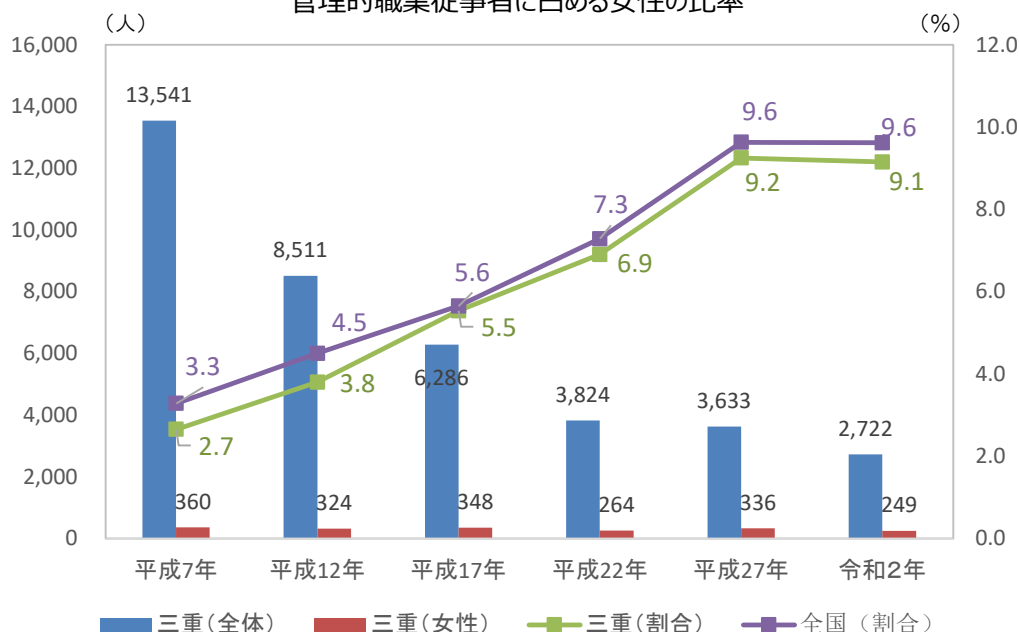
男女間所定内給与額の格差



(4) 管理的職業従事者に占める女性の比率

管理的職業従事者に占める女性の比率は、緩やかに増加傾向にありますが、依然として低い状況となっています。

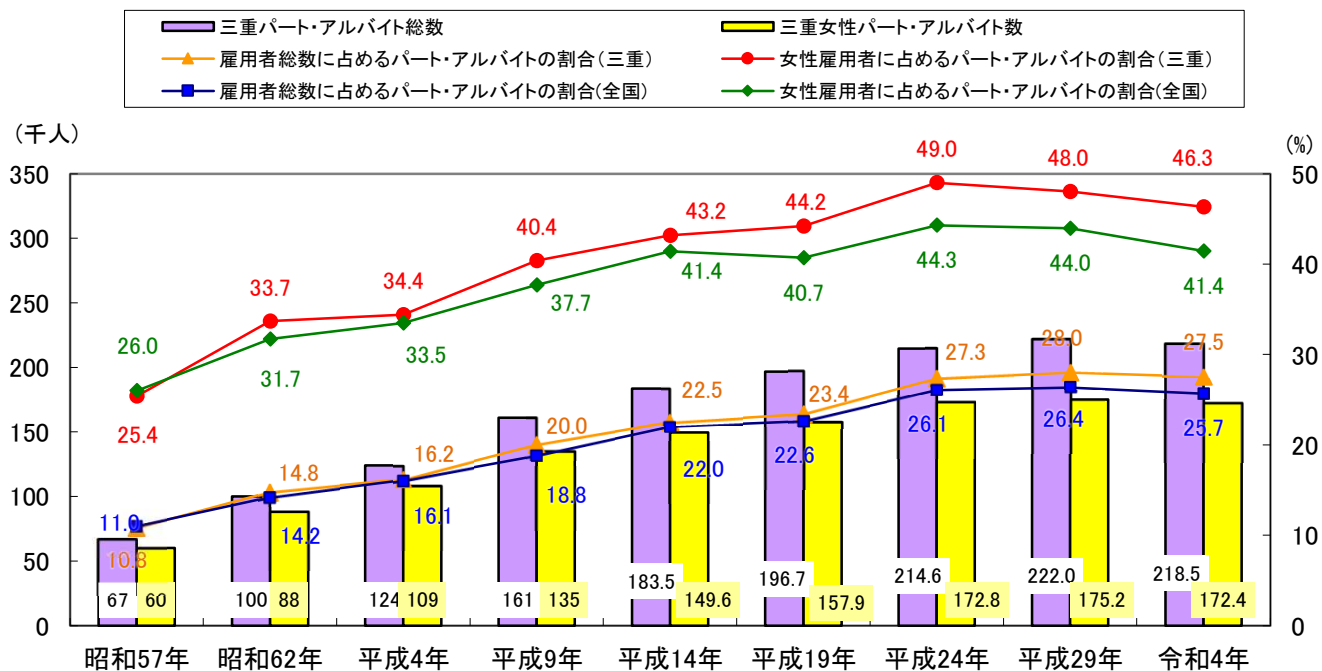
管理的職業従事者に占める女性の比率



(5) パート・アルバイトの人数及び割合の推移

令和4年に三重県でパート・アルバイトとして働く女性は172,400人で、女性の雇用者の46.3%を占め、人数は平成29年をピークに、割合は平成24年をピークにそれぞれ下降しています。三重県は、全国の割合(41.4%)を上回っています。

パート・アルバイトの人数及び割合の推移



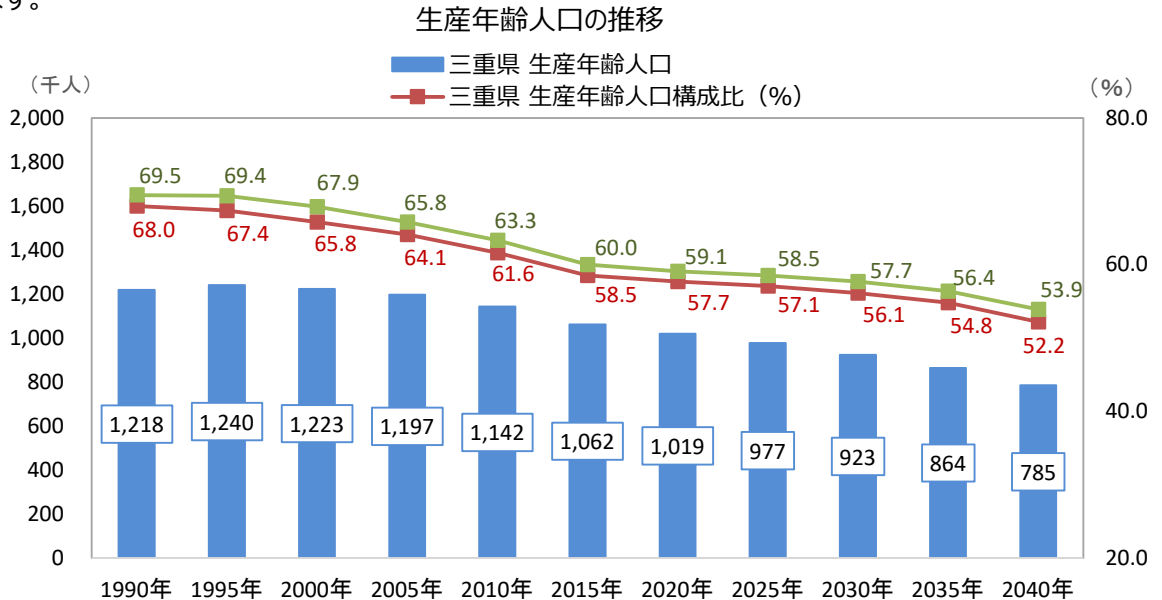
資料出所:総務省統計局「就業構造基本調査」

雇用者は役員を除く
パート・アルバイトは呼称

2. 少子・高齢化と雇用の実態

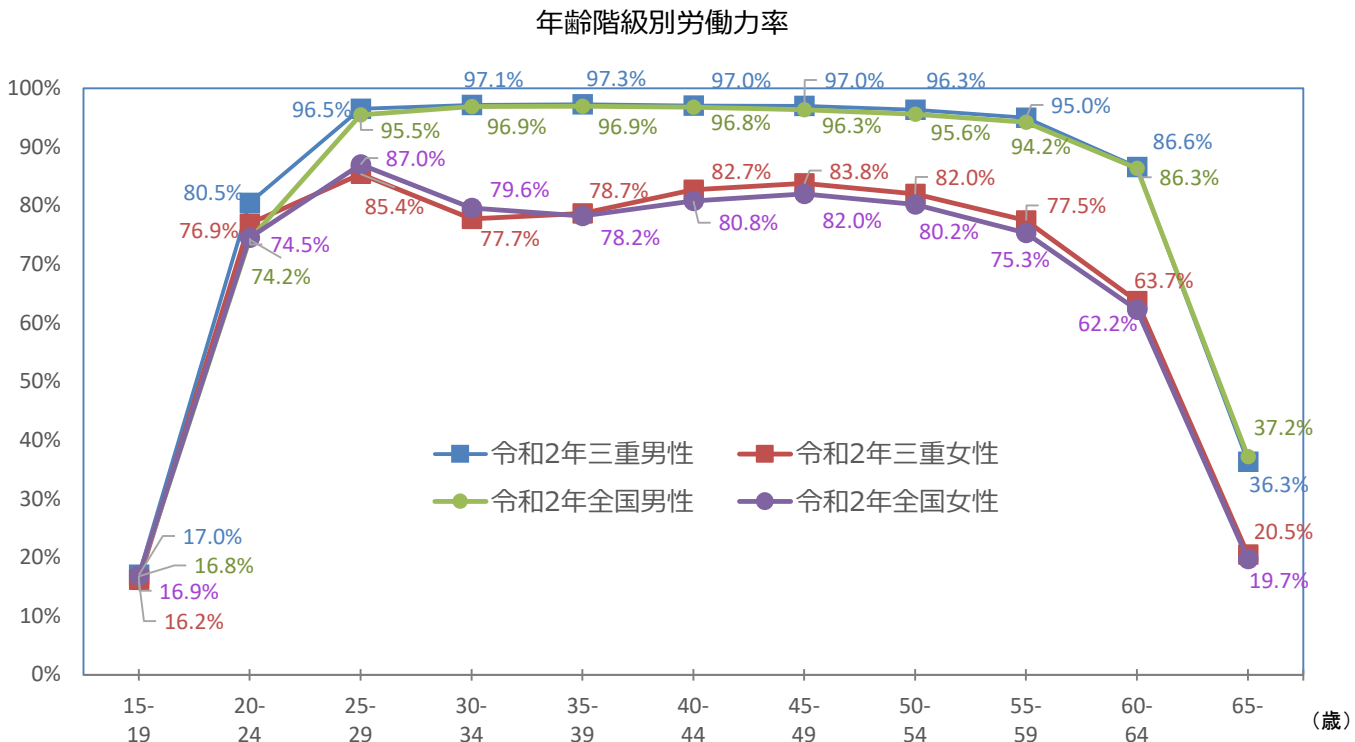
(1) 生産年齢人口の推移

三重県の生産年齢人口(15～64歳層人口)は、2015年は1,062,000人で総人口の58.5%となっています。2040年には生産年齢人口構成比は52.2%になり、少子・高齢化が更に進行することが推計されています。



(2) 年齢階級別労働力率

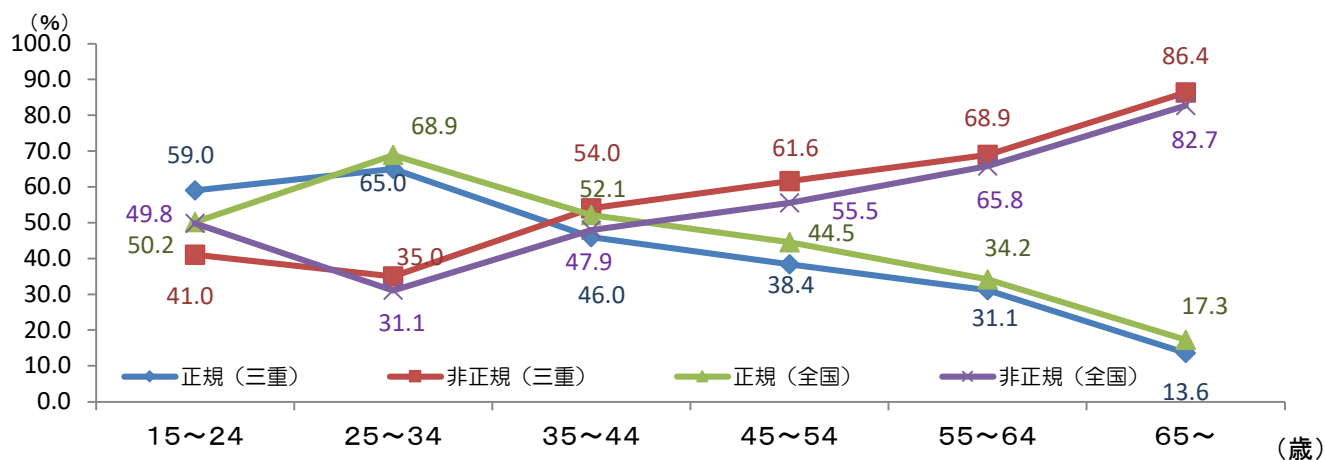
労働力率を年齢階級別にみると、男性は25歳～59歳まで90%以上で推移しているのに対し、三重県の女性は25歳～29歳層及び45歳～49歳層を左右のピークとし、30歳～34歳層を底とするM字型になっており、結婚、出産期に離職した女性が生育てが落ち着いた40歳台に再び働き始めることがうかがわれます。M字の底は上昇傾向にあります。



(3) 女性の非正規雇用労働者の割合

正規雇用労働者、非正規雇用労働者の割合を年齢階級別にみると、全国・三重県ともに結婚・出産が多い25歳～34歳層を境に、正規雇用労働者と非正規雇用労働者の割合が逆転しており、35歳以降は正規率に比べ非正規率が高くなっています。三重県は全国に比べ、非正規雇用労働者が多い傾向にあります。

女性の非正規雇用労働者の割合

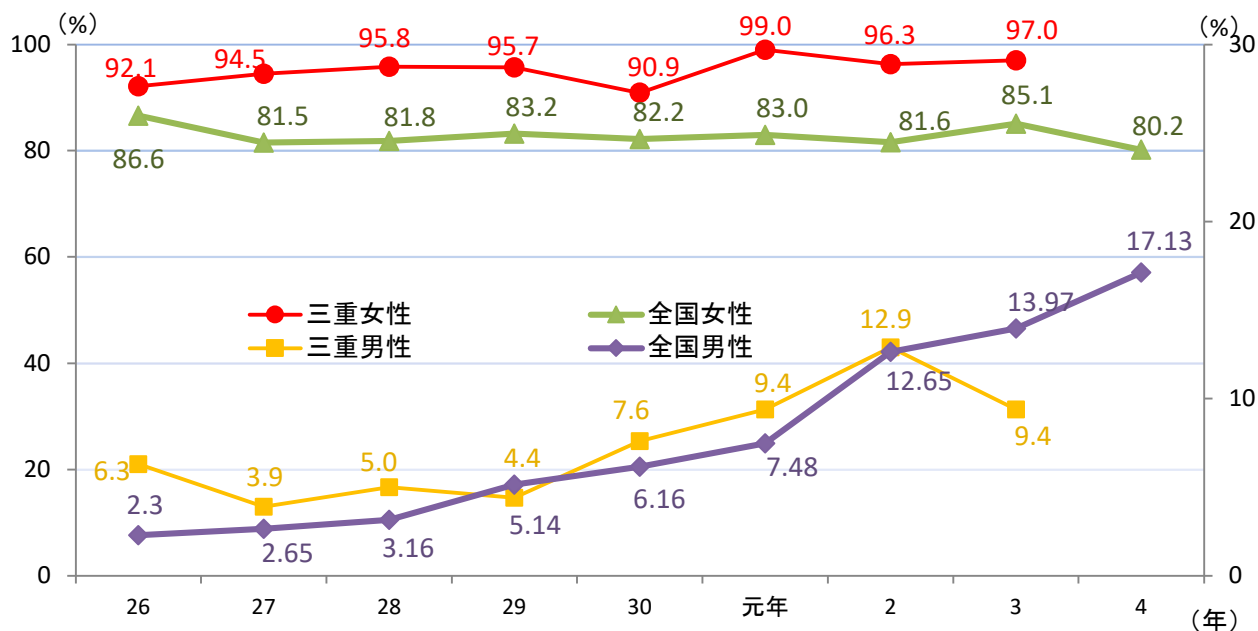


資料出所：総務省「令和4年就業構造基本統計調査」

(4) 育児休業取得率の推移

令和4年度の全国の育児休業取得率は、女性は80.2%と8割を超えています。三重県の男性の育児休業取得率は令和3年度は9.4%と、前年度より3.5ポイント減少しました。女性に比べ男性の育児休業取得率は依然として低水準となっています。

育児休業取得率の推移

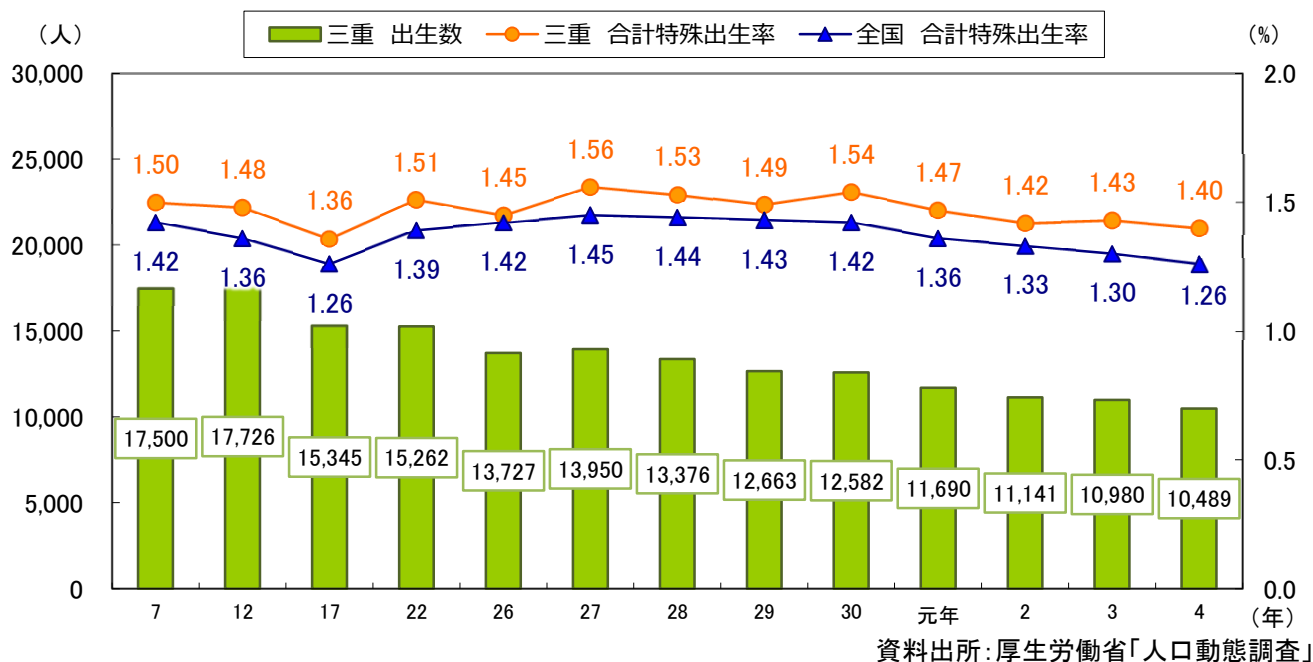


資料出所 厚生労働省「雇用均等基本調査」
三重県「三重県内事業所等労働条件等実態調査」
令和5年9月現在、三重県の数値は令和3年分が最新数値

(5) 出生数及び合計特殊出生率の推移

三重県の合計特殊出生率(一人の女性が一生の間に産む子どもの数に相当するもの)は、全国より若干高めに推移しており、令和4年には1.40%となっていますが、出生数は減少しており、少子化が進んでいます。

出生数及び合計特殊出生率の推移

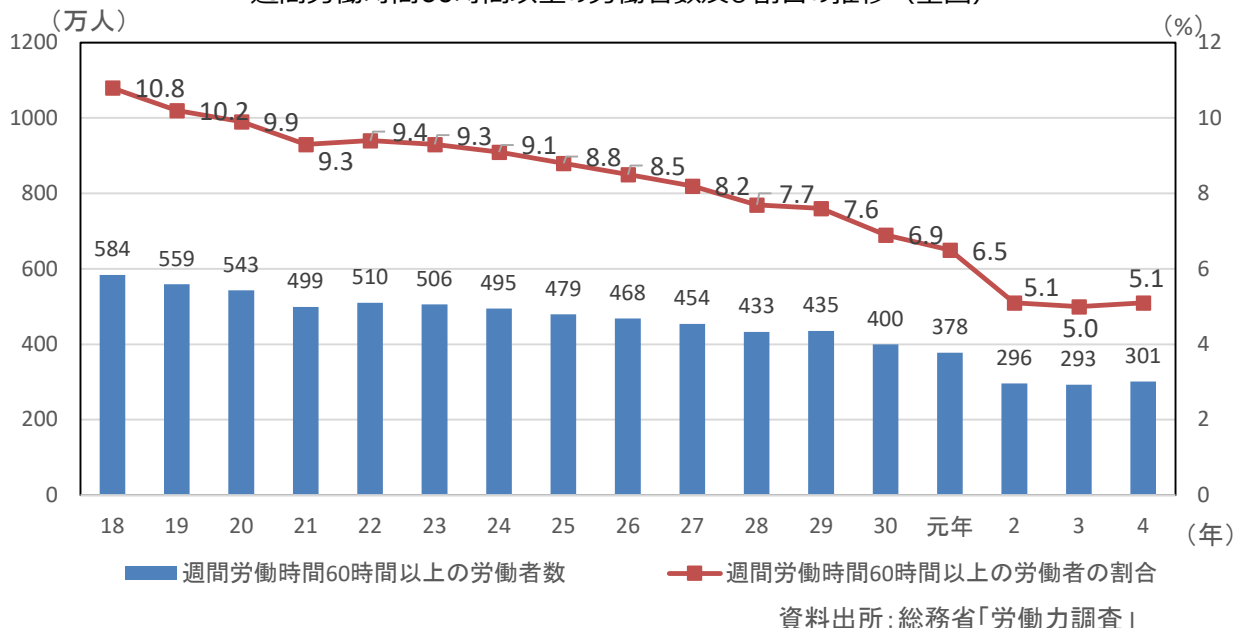


3. 働き方・休み方

(1) 週60時間以上就業する雇用者数の割合

週60時間以上就業する雇用者は、年々減少しており、令和4年は5.1%となっています。

週間労働時間60時間以上の労働者数及び割合の推移（全国）



☆参考☆

三重県の調査（※）では、令和3年度で月平均所定外労働時間が80時間以上の事業所割合は0.1%となっています。

（※）三重県「三重県内事業所労働条件等実態調査」
（常用従業員数10人以上300人未満を対象）

(2) 年次有給休暇の取得状況

中小企業における取得率は59.1%（令和4年）となっています。

（全国の規模計の平均取得率は58.9%（令和4年））

年次有給休暇の取得状況の推移（三重県）

